講座基本情報	
講座名称	問題解決力　基礎編
講師名	冨岡武

講座イメージ	
時間数	約４時間（イントロダクション、ユニット×4、まとめ）
時間割	・イントロダクション ・ユニット１　問題を定義する 問題とは・・・ 問題定義の型 ２つの問題 「思い」の源泉 ファシリテーターノート ・ユニット２　課題を発見する 課題とは・・・ 課題発見の型①：仮説 課題発見の型②：事実（数値グラフ） 課題発見の型③：事実（気持ちインタビュー） ファシリテーターノート ・ユニット３　解決策を立案する 解決策とは・・・ 解決策立案の型①：網羅（MECE＆ブレスト） 解決策立案の型②：選択（意義）/解決策立案の型③：選択（実行条件） ファシリテーターノート ・ユニット４　提案で伝え切る 提案（プレゼンテーション）とは・・・ 提案の型①：準備（構成） 提案の型②：準備（資料作成）/提案の型③：本番（3V＋C） ファシリテーターノート ・まとめ
試験方法	ユニット毎の確認テスト（択一問題）
合格判定基準	70%以上の正答率を合格とする

講座の特徴及び関連スキル

本講座の特徴

本講座「問題解決力　基礎編」の目的は、これまでの知識や経験が通用しない難しい／新しい問題に直面した際に、自分（たち）で考え抜き、自分（たち）ならではの答えを創る考え方を問題解決思考と定義し、それを再現性のある思考の「手順と型」として学ぶことにあります。

問題解決思考は、組織やプロジェクトのメンバー（上司と部下、組織横断の関係者など）がともに身につけることによって、効率的な議論と仕事の進め方の「共通言語」として機能します。ぜひ上司やリーダーから率先して問題解決の「手順と型」を身につけていただき、難しい／新しい問題解決に役立てていただきたいと思います。

関連スキル等

『思い × スキル ＝ 解決する当事者』

難しい／新しい問題から逃げず、「何とかしたい」「もっとよくしたい」思いを持ち、事実（現場、数値、人の気持ち）ベースで論理的に考え抜き、自分（たち）ならではの解決策を創る能力を磨きます。

プレゼンテーションについては「プレゼンテーション力」講座とあわせて履修することで、より厚みのあるプレゼンテーション力が身につくはずです。

受講で得られる知識・スキル・コンピタンス

問題定義スキル ― 何が問題なのかを明確にする力

課題発見スキル ― 仮説を拡げ、事実ベースで解決の鍵を発見する力

- 原因仮説（右脳アイデア ― ブレインストーミング ～ グループ化）
- 事実検証（数値グラフ、気持ちインタビュー）
- 課題発見（これまでの“原因”らこれからの“課題”へ）

解決策立案力スキル ― 新しいアイデアを創り、選択する力

- 解決策立案（左脳ロジック ― MECE とロジックツリー ～ ブレインストーミング）
- 解決策選択（意義と実行要件）

プレゼンテーションスキル ― わかりやすく提案する力

- 資料作成（論理的な構成、１スライド１メッセージ資料）
- 本番伝達（言葉・声・姿勢 、質疑応答）

講師紹介

冨岡武

Will & Skills コンサルタント／ファシリテーター

㈱ビジネス・ブレークスルー講師、BBT 大学 専任講師（問題解決思考担当）

Be-Nature School ファシリテーション講座　講師

筑波大学 第一学群社会学類（政治学） 卒業。ＢＢＴ大学大学院 第４期卒業 経営管理修士（MBA）。

㈱ブリヂストン、アーサーアンダーセン、デロイトトーマツコンサルティング㈱のシニアマネジャーを経て独立。「KY（答えを読む）からＫＴ（答えを創る）」をコンセプトに、「自分たちで考え抜く」問題解決思考研修、経営ビジョン・戦略作成のファシリテーション、選抜リーダーによる事業課題解決プロジェクトを数多く実施。e-learning 講座（問題解決思考シリーズ）の受講者は約 2,500 名／年。

共著：「ファシリテーション ー 実践から学ぶスキルとこころ」2009 年 岩波書店 など

e-leaning 講座：「問題解決思考入門トレーニング（全１０回）」2011 年、「問題解決思考実行トレーニング（全１１回）２０１５年　　㈱ビジネス・ブレークスルー提供